



特集 村での暮らし、ぼくの1日

「自分の家の前に井戸ができ、もう、近所の人に追い払われながら井戸を使わなくてもよくなりました。支援をありがとう!」と語るソニアちゃん(インド)

遠く離れたところに住むチャイルドは、普段どんな生活をしているんだろう…

チャイルド・スポンサーの皆さまの「チャイルドの生活の様子が知りたい」という声にお応えし、今回は、ルワンダの



6:00

朝ご飯は「アフリカンティー」というお茶だけです。家で飼っている牛のミルクに、水、紅茶、砂糖を入れて作ります。飲み終わったら、学校に「行って来ませう！」

14:50

学校から帰ったらすぐにお手伝い。家には水道がないので、片道2キロ、約30分の道のりを歩いて川まで水を汲みにいきます。水を入れたタンクの重さは、約10キロ。日によってはこれを2～3回繰り返します。



この茶色い川の水が唯一の水源地です。この水を生活のすべてに使います



水汲みから帰宅した後は、食事を作るための薪割り、牛の世話、お昼ご飯の準備……。エリックくんはたくさん手伝い、家族を助けます。



自己紹介：エリックくんは、7人兄弟の6番目。お母さんは重い病気で入院しているので、お父さんとおばあちゃん、兄弟と9人で暮らしています。好きな科目は理科で、将来の夢は電気エンジニアになることです。



ルワンダ



特集

村での暮らし、

●キラムルジ ADPでの支援活動

1994年、100日間で約80万人もの人々が亡くなったジェノサイド（大量虐殺）は、ルワンダの人々の心に大きな傷跡を残しています。2008年から始まったキラムルジADPでは、若い力を中心に地域住民同士の助け合いの絆を育むことを目的とした平和再構築プロジェクト、子どもたちが安心して学習するための教育プロジェクト、保健衛生・HIV/エイズ対策プロジェクト、食糧増産プロジェクトなどに取り組んでいます。

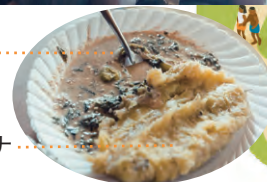
20:00

夜ご飯に朝と同じアフリカンティーを一杯飲んだ後、床に就きます。

「チャイルド・スポンサーシップの支援で牛が支給されてから、ミルクを飲めるようになっただけでなく、ミルクを売って家族の収入が増えたので、本を買ってもらえたよ」と笑顔で話すエリックくん。お父さんも、「牛の支援により(堆肥で)バナナなどの作物がよく育つようになりました。また、バナナを売った収入で、子どもたちの医療費も払えるようになりました」と話してくれました。



シチュー



蒸しバナナ

16:00

ようやくお昼ご飯の時間。エリックくんは、配膳や、一緒にご飯を食べる近所の子どもたちの手洗いを手伝います。皆そろったところで、「いただきます！」これが、一日で唯一の食事ですが、支援により、野菜を含む栄養バランスの良い食事をとることができるようになりました。



ぼくの1日



お母さんが入院しているので、お昼ご飯の準備は、近所の女性が手伝ってくれます。主食はバナナ。一方の鍋で蒸しバナナを作り、もう一方の鍋でエリック君が砕いたピーナッツや、畑で採れたナス、トマトなどが入ったシチューを作ります。

●エリックくんが紙芝居に！

エリックくんの生活を通して世界の栄養問題を考える、Web紙芝居を作成しました。お子さまと一緒にぜひご覧ください。また、教育機関の皆さま向けに貸出用紙芝居もご用意しています。総合学習や社会の時間などで、ぜひご利用ください。

詳しくはこちら [エリックくん 紙芝居](#) 検索

変えるべきものと、変えてはならないもの

今回は、副事務局長兼戦略企画室長 木内真理子スタッフに、ワールド・ビジョン・ジャパン(WVJ)の働きに対する想いを語っていただきました。

ワールド・ビジョン・ジャパンには、どんなときでも目指す方向として、ビジョン・ステートメントというものがあります。いわゆる“決意表明”です。そして、それを実現するために3年毎に活動の目標や計画を立てて活動しています。今年は、その3カ年計画を作る節目の年です。各部署を代表する5人のスタッフを集めたチームを結成し、新計画を練っています。



ビジョン・ステートメント

Our Vision for every child,
life in all its fullness

Our Prayer for every heart,
the will to make it so

私たちのビジョンは、
すべての子どもに豊かないのちを
私たちの祈りは、
すべての人の心にこのビジョンを実現する意志を

チームでの議論は、時に和気藹々。時に喧々諤々。よりよい支援をより多く届けるために「次の3年で何をするか(DO)」をみんな真剣に考えています。と同時に、私自身は、「WVJ自体がどうあるべきか(BE)」一ヒトで言えば性格や人間性のようなもの一も、「DO」と同様、あるいはそれ以上に大切なのではとの想いを強くしています。

そして、社会や人々の変化に応じて新しい「DO」を生み出し実行する不断の努力を行う一方で、世の中がどう変わっていきこうと変えてはならない団体の「BE」は何かを見極め、それを守り磨いていきたいと考えています。

私たちの「BE」を創っているのは、個性的なスタッフたち(笑)と途上国の子どもたちとコミュニティ。そして、いつも温かく励ましてくださるご支援者の皆さまだと思っています。

これからも皆さまに支えていただき、足りないところはどんどんご指摘いただきながら、途上国の子どもたちの、今日より希望が持てる明日を実現するために活動していきたくと願っています。どうぞよろしくお願いいたします。



3カ年チームのミーティングの様子



【木内スタッフプロフィール】

大学卒業後、政府開発援助(ODA)や大学での仕事を経て「現場に戻ろう」をキーワードに2008年10月よりWVJに勤務。アフリカなどの事業を担当後、2011年5月より東日本大震災緊急復興支援部長、2013年4月より現職。小学生の男の子のお母さん。

各部署を代表する5人のスタッフを集めた3カ年チームをはじめ、個性的なスタッフたちが働く中での想いをつづったスタッフブログをホームページにて掲載しています。ぜひお楽しみください。



ワールドビジョン ブログ 検索

<http://blog.worldvision.jp/>

埼玉県在住の濱館さんは、2011年からインドのムスパンディ君のチャイルド・スポンサーになってくださっています。この6月、ムスパンディ君とその家族に会うため、インド・ブドゥコッタイADPに個人訪問されました。

大学時代に海外の医療支援に取り組む友人などの影響もあり、社会人になったら必ず、困っている人たちが笑顔で幸せに過ごすために役立つアクションを何か一つでも起こそうと決め、様々なNGOの情報を集めているときにワールド・ビジョン(WV)と出会いました。

今回は支援地を訪問して、ムスパンディ君とその家族と心を通わすことができ、心より感謝しています。3年間の支援の中で、チャイルドとは手紙のやりとりを数回させていただいていましたが、実際にチャイルドやその家族と会って話をすることで、よりリアルに、親近感を持つことができました。



濱館さんとムスパンディ君（写真中央）と家族



濱館さんとムスパンディ君

初対面した時は、とても感動して目に涙があふれました。対面直後は緊張気味だったムスパンディ君も、お土産で遊んだり、私の家族の写真を見せて、お互いの自己紹介をしていくと、徐々に笑顔になっていきました。



支援地域内

支援によって、学校に通うことができ、家にも勉強机とイスが来て、チャイルドのお父さんは家でソファ作りという新しい職を始めることができたということを教えてくれて、とても嬉しく思いました。私も自分のビジネスを始めただけということもあったので、お互いがんばって成功させようという話で一つになりました。



お土産のおもちゃで遊ぶムスパンディ君



お母さんの栄養教室に参加

最後にお互いが家族のように思っていますということを伝え合うことができ、とても温かい気持ちをいただき、この時間は私にとって一生の宝物になりました。今後の手紙のやりとりはおそらく、以前のものとはまったく違ったものになると、とても楽しみにしています。

チャイルド・スポンサーの方は、チャイルドを個人的に訪問することが可能です。

- ・ご希望の訪問日の2カ月前までに、チャイルド訪問申込書・同意書をご提出ください。
- ・チャイルド訪問に必要な宿泊先や交通手段等は、ご自身でご手配ください。
- ・現地スタッフとのコミュニケーションは英語のみとなります。

(現地の状況により、ご訪問をお受けできない地域がございます。詳しくはホームページをご覧ください。)

ワールドビジョン 個人訪問 検索 http://www.worldvision.jp/involve/visit_p.html



小さな命が大きく育つことを願って

支援事業部 開発事業課 ベトナム駐在スタッフ きどりさ 木戸梨紗

地域住民への劇を使った
分かりやすい啓発活動

ディエンビエン省はベトナム国内58省のうち3番目に貧困率の高い省で、モン族やタイ族などの少数民族が多く住んでいます。この地域の貧困家庭は無料で保健サービスを受けることができますが、言葉の違いや慣習が壁となって、産前健診を受けずに、自宅で出産を行う母親が多くいます。そんな人々が安心して出産し、子どもたちが健やかに成長できるようにと、「ディエンビエン省における妊産婦・新生児の健康改善事業」が始まり、1年半が過ぎました。

本事業では、①保健サービスを受ける人が増えること
②保健サービスの質の向上
③家庭で適切な妊産婦・新生児ケアを実践できるようになること、
の3つの成果を目指して活動しています。

1年目はディエンビエン省内の病院や保健センターへの資器材の提供、保健センターの産科室の建設といった環境整備を行いました。また、のべ105人の産科・小児科の医師や助産師などの保健スタッフに分娩介助法、緊急産科ケア、新生児蘇生法、輸血法などの研修も行いました。研修を受けた保健スタッフは、以前よりも自信を持って、より適切な保健サービスを行うことができるようになってきています。

さらに、村落で地域住民に啓発活動を行う村落保健員など160人に対して、コミュニケーション能力向上のための研修を行いました。その結果、村落で毎月行っている保健クラブでは、研修を受けた村落保健員たちが産前健診を受ける大切さや妊娠中の過ごし方などについて、妊婦や母親たちに分かりやすく伝えることができるようになりました。保健クラブに参加する多くの母親たちが「いろんな知識を学ぶことができている」と話してくれます。しかし、そうした新しい知識を実際に家庭で実践している人の数は、まだまだ多くありません。

今後、さらに多くの家庭で適切な妊産婦・新生児ケアが行われ、地域の母親たちが積極的に保健サービスを利用することにより、一人でも多くの子どもが健やかに成長できるように、地域の人々や専門家とともに引き続き事業を進めていきます。

※この活動は、外務省のNGO連携無償資金協力と皆さまからの募金により実施されています。



輸血についての研修



郡病院で生まれた新生児とそのお母さん



保健センターを訪れたモン族の親子と木戸スタッフ (写真左)

株式会社チュチュアンナ

チャイルドとの交流は、店舗スタッフにとっても大きな励ましとなっています！

株式会社チュチュアンナは、国内外で靴下やインナーの専門店を展開している会社です。現在チャイルド・スポンサーシップをはじめ、バングラデシュやマラウイにおける学校や診療所の建設などにも継続的にご支援をいただいています。今回、ご支援についての想いを伺いました。

tutu anna™

チュチュアンナでは、会社の利益1%を使って「青少年育成」「貧困救済」「自然環境保護」を目的とした「チュチュアンナ1%クラブ」を設立・運営しています。

WVJのチャイルド・スポンサーシップには2006年から参加し、25人のチャイルドを通しての支援などを行っています。

弊社では日本と中国で300店舗を運営していますが、25人のチャイルドとのコミュニケーションは、店舗で働くスタッフとの間で行っています。チャイルドには店舗スタッフ一人ひとりがメッセージを書き支援地に送りますが、毎回チャイルドから心温まるお手紙が返信されますので、店舗スタッフにとっても大きな励ましとなっています。これからも、チャイルドとのコミュニケーションを大切に、支援を継続していきます。



スタリン P君の写真を飾ってくださっているヴィアあべのワーク店さま (大阪府)

ラブギフト

いよいよラブギフトが子どもたちに届きます！

ラブギフトは、皆さまに選んでいただいた贈り物（ギフト）を、途上国の子どもたちへ届ける支援です。ギフト額に応じた募金をいただくことにより、WVが現地でギフトを調達して届けられます。

2014年2月から6月までの受付期間に、

3,705,240円もの募金のお申込みをいただき、

487件のギフトを届けることが可能となりました。7月にギフトの調達と配布準備が始まり、9月末までに子どもたちに配布する予定です。

ギフトは全8種類、

例えば次のようなギフトが子どもたちに届けられます。

- 「わくわく通学セット」 90セット
- 「ミルクで栄養 乳牛一頭」 47頭
- 「夜も勉強できるソーラーライト」 39個 など



ラブギフトにご協力いただき、
ありがとうございます！

※ギフトの数は変更となる可能性があります。

ご協力くださった皆さまには、11月中にメールで報告書をお届けする予定です。子どもたちの笑顔をご期待ください。次回の受付開始は2015年2月ごろの予定です。ホームページなどでご案内いたします。

「ジュディ先生の命の授業」を開催しました！

5月31日(土)、WVJの親善大使として20周年を迎えたジュディ・オングさんによる「ジュディ先生の命の授業」を開催しました。このイベントに参加したのは、16組31名の子どもたちと保護者の皆さま。ジュディ先生は、ルワンダに暮らすエリックくんの1日を紙芝居で読み聞かせた後、自身の版画作品「心」に込める想いを語りました。「心と命(心臓)はつながっていて、生きているということは温かいこと。そのことを思いながら、毎日ありがたく、挑戦の心を持って生きましようね」



ジュディ・オングさん(中央)と参加してくれた子どもたち



カルタ大会の様子

イベント後半は“カルタ”の時間。世界の子もたちの写真を絵札にして、子どもたち自身でカルタの読み札を考えました。でき上がった作品で実施したカルタ大会では、会場いっばいに「はい!」という元気な声が響きました。

参加いただいた子どもの保護者の方からは、「今の当たり前な毎日がいかに幸せかが、よく分かりました」という感想をいただきました。



でき上がった作品の一例

アドボカシー

子どもたちの健やかな成長を目指して、「一歩」の積み重ねを続けていきます！

貧困や紛争の原因について声を上げ、問題解決のためにできることを政府や市民社会に伝え、行動を起こすように働きかけることを、「アドボカシー」といいます。

アドボカシーで重要なことはいくつかありますが、中でも政策決定者と対話の機会を持つことはその1つであり、最初の一歩になります。政策決定者の考えを直接聞き、自分たちの考えを伝え、意見を交わすことができるからです。

WVJでは、「動く→動かす」、「日本リザルツ」等の団体と共催で、予算勉強会を開催しています。これまで、財務省主計局の太田充次長、衆議院議員の逢沢一郎氏、外務省の長嶺安政外務審議官(経済担当)、JICA田中明彦理事長など、政策決定に大きな影響力を持つ方々を講師にお招きし、日本の予算やODA政策等についてお話を伺い、対話の機会を持ちました。ここで得られた知見とつながりを活かし、子どもたちが健やかに育つ世界を実現するため、一歩一歩活動を進めます。



予算勉強会にて発表する柴田スタッフ(左奥)



予算についてわかりやすく解説される財務省主計局太田充次長

お手紙の書き方

グリーティングカードを送ろう！

クリスマス、年末年始は世界的に郵便が混み合う時期です。
現地直送の場合は、**10月下旬**までの投函をお願いします。



Child ID ABC-1111-2222
Child Name ○○○○

Merry Christmas

Dear ○○○○
I wish you a Merry Christmas and a Happy New year.
Wish you have wonderful holidays!

Sincerely yours,
○○○○

チャイルド番号
チャイルドの名前
スポンサーの名前

メッセージ

Merry Christmas!!
Happy New Year!!
Jesus was born today.
Happy 2015!!

※下記の注意点参照

喜ばれるプレゼント

ポップアップカード
メロディーカード
光るカード等



文房具



オーナメント



巾着袋

お送りいただけないプレゼント



刃物



食べ物



お金



お化けや怖い絵



石けん

ご注意点

支援国の文化的・宗教的理由により、クリスマスをお祝いしない地域もあります。
そのため、送ることができるメッセージが異なりますのでご注意ください。

ラオス・ベトナム・ネパール

※クリスマスカードは送れますが、宗教的な表現は避けてください。

- : Merry Christmas!!!
- : Happy Holidays!!
- ×: Jesus was born today.
- ×: Let the Angels Sing!

以下のデザイン・プレゼントは避けてください。



インドネシア・スリランカ・タイ(トゥンワ地域)

※クリスマスカードは宗教的理由でご遠慮ください。新年のあいさつのみお送りください。

- : Happy 2015 !!
- : Best wishes for the New Year !
- ×: Merry Christmas and a Happy New Year !
- ×: Happy Holidays !!

以下のデザイン・プレゼントは避けてください。



封筒の書き方

●英語で書く場合

表
14~23.5cm
AIRMAIL
ワールド・ビジョン
「現地事務所住所」
9~12cm
切手
チャイルド紹介カードまたはHPをご確認ください

裏
Harmony Tower 3F, 1-32-2
Honcho Nakano-ku, Tokyo,
164-0012, Japan
パートナー番号/名前
チャイルド番号/名前
ワールド・ビジョン・ジャパンの住所

●日本語で書く場合

日本語でグリーティングカードをお書きの方は、支援国までの郵送料の切手を同封のうえ、10月中旬までにWVJ事務局に到着するようお送りください。翻訳を付けて、現地へお送りします。

ホームページから例文とデザインを選び、WVJへ送信するだけで、チャイルド宛ての手紙が書ける「Eレター」ができました。写真を添付することもできます。忙しくてなかなか手紙が書けない方、ぜひご利用ください。

Eレター 検索



- 切手代金：定形25gまで アジア 90円 エルサルバドル 110円 アフリカ・エクアドル 130円
- グリーティングカードについてご不明な点がございましたら、支援者窓口 (03-5334-5351 平日9:30-19:00) までにご連絡ください。



佐々木スタッフのお仕事

22カ国56地域のスポンサーシップ事業と25件の特別/募金プロジェクトの事業監理を課員や他課の関係スタッフと行っています。特にスポンサーシップ事業は長期に渡る支援なので、より良い事業の実施とご支援者への報告を目指し、WVJ内外の関係者と協議・連携をしながら進めています。



●4:30 起床。大好きなコーヒーを入れて目を覚まします

●5:00 朝食をとりながら仕事のメールチェック

●6:00 起きてきた家族と一緒にテレビに合わせて体操! ベランダの野菜の成長をチェックし、今日一日のパワーをもらいます

●7:00 子どもの朝食準備と娘のお弁当作り(夕食の準備も!)

●8:00 子どもの登園準備。自分の身支度



●9:00 子どもと登園後、出勤

事業の進捗・報告状況をチェック。所属課では多くの支援事業を監理しています。

●10:00

●11:00 海外のWVJ事務所スタッフとスカイプで、事業の管理方法や報告様式について協議・情報交換

●12:00

●13:00

●14:00 WVJの次期3カ年計画の会議



昼食。コンビニのサンドイッチとおにぎりを、同僚とお喋りしながら、デスクで

●15:00



支援事業はWVJ内外の複数関係者と協働で進めているので調整内容は多いです

●16:00

子どもたちが夫と降園 ●17:00

●18:00 退勤

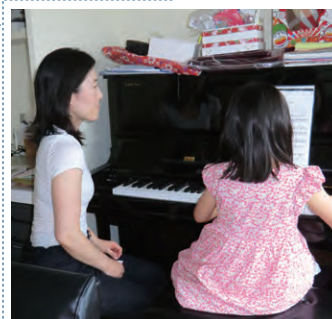
帰宅

●19:00 朝準備した夕食を、家族といただきます

家事の合間に子どもたちとボール遊びや絵本読み聞かせ

●20:00

●21:00 お風呂、子どもの寝かし付け



娘のピアノ練習。コンクールが近いので娘以上に熱が入ります!

●22:00 家事、就寝

佐々木スタッフプロフィール
英国マンチェスター大学にて開発プロジェクト計画管理修士課程修了。国土交通省の公益法人でのODAインフラ事業の形成業務や、UNDPタイ事務所(2年間)、JICA東京(1年半)での勤務を経て、2006年1月にWVJ入団。6歳の女の子と3歳の男の子のお母さん。

インフォメーション

■WVカフェのご案内(2014年8~12月)

スタッフによる支援活動報告と、スポンサー同士で交流の時間を持つことができます。ご家族ご友人をお誘いのうえ、ぜひご参加ください。参加希望の方は事前にホームページ、Eメール、またはお電話にてお申込みください(締切は開催日の3日前までです)。

TEL:03-5334-5351

FAX:03-5334-5359

Eメール: dservice@worldvision.or.jp



WVカフェ in 埼玉の様子

静岡

日時:8月30日(土)14:00~16:30

場所:アクトシティ浜松 研修交流センター 52研修交流室

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1

TEL:053-451-1111

奈良

日時:9月6日(土)14:00~16:00

場所:奈良商工会議所 4F 小ホール

〒630-8586 奈良市登大路町36-2

TEL:0742-26-6222

京都

日時:9月7日(日)14:00~16:30

場所:コープイン京都 2F 202号室

〒604-8113 京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル井筒屋町411

TEL:075-256-6600

宮城

日時:10月11日(土)14:00~16:30

場所:仙台市情報・産業プラザ セミナールーム(2)B

〒980-6105 仙台市青葉区中央1-3-1

TEL:022-724-1200

千葉

日時:11月29日(土)14:00~16:30

場所:千葉市民会館 第1、2会議室

〒260-0017 千葉市中央区要町1-1

TEL:043-224-2431

愛知

日時:12月13日(土)14:00~16:00

場所:日本特殊陶業市民会館 第1会議室

〒460-0022 名古屋市中区金山1-5-1

TEL:052-331-2141

大阪

日時:12月14日(日)14:00~16:30

場所:新大阪丸ビル別館 3階5号室

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-18-22

TEL:06-6325-1302

■10月1日(水)、事務局はお休みとなります

2014年10月1日(水)は職員研修のため、事務局での業務はお休みさせていただきます。恐れ入りますが、お電話でのお問い合わせは10月2日以降にお願いします。また、メールやホームページからのお問い合わせ等につきましても10月2日以降、順次回答させていただきます。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をよろしくお願いします。

■お電話でのお問い合わせに関するお願い

ご登録情報の変更や各種お問い合わせは、

支援者窓口 03-5334-5351(平日9:30-19:00)までご連絡ください。また、ホームページやマイ ワールド・ビジョンからも各種お手続きを承っておりますので、あわせてご利用ください。

編集後記

私どもが行う国際協力は現地の人々の必要に応え、生活や社会を改善し、直接的に人々に益するためのものです。そのためには現地の人々の主体性が大切で、事業の形成、実施、評価に住民が参加する、「住民参加」という形態をとります。一方、支援が効率的、効果的に行われるためには長期的な視点を持つことも重要で、WVJでは通常3カ年の戦略・計画を立てて活動を行います。本年はその3カ年計画を策定する年であり、3年後の姿を描きながら、無い(?)知恵を出しつつ、策定に取り組んでいます。大変ですが、これもまた楽しい! (事務局長)



フィリピンの子どもたちと

日本から世界へ広がる“幸せの輪” チャイルド・スポンサーシップをご紹介ください！

「何か良いことがしたい」、「社会貢献になる活動にかかわってみたい」と思っているご友人が皆さまのまわりにいらっしゃいませんか？
皆さまの口コミが世界の子どもたちへの大きな力となります。
“幸せの輪”が日本から世界へ広がっていくよう、
ぜひチャイルド・スポンサーシップをご紹介ください。



例えば、こんな方法で……

FacebookやTwitterやブログで紹介できます！



「私が支援しているチャイルドから手紙が届きました」「チャイルド・スポンサーになりました！」などの投稿をすることは、まわりの方々が途上国の子どもたちのことを少し身近に感じ、関心を持つきっかけになります。



※チャイルドの写真や個人情報の掲載について、守っていただきたい注意点が 있습니다。ホームページの「チャイルド・プロテクション・ポリシー」をご確認の上でご投稿ください。

ご紹介用の資料をご活用ください！

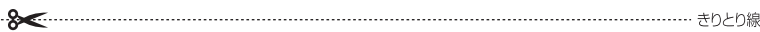
WVJでは、ご家族やご友人に気軽にご紹介いただくための資料をご用意しています。紹介用の各種パンフレットはホームページ、またはお電話からご請求いただけます。



チャイルド・スポンサーシップ紹介冊子



ミニカード(名刺サイズ)



きりとり線

チャイルド・スポンサーを募集しています！ お申込みは今すぐ

電話: ☎ 0120-465-009

(お申込み、パンフレットのご請求にお使いください)

(24時間受付)

ファックス: 03-5334-5359

(右記の□にチェック(✓)をしてお送りください)

<http://www.worldvision.jp/>

(お申込みやパンフレットのご請求ができます)

- チャイルド・スポンサーシップに申込み
チャイルド・スポンサーシップのチャイルドを追加する

お申込みの方

支援希望地域: アフリカ アジア 中南米
任せます

送金方法: クレジットカードの毎月利用
(VISA、MASTER、SAISON、JCB、AMEXがご利用いただけます)
金融機関口座から毎月の引き落とし

名前(フリガナ)

パートナー番号(お分かりの方はご記入ください)

住所

電話番号

Eメール

お問い合わせは

CONTACTセンターへご連絡ください。

CONTACTセンター(支援者窓口)

TEL: 03-5334-5351

FAX: 03-5334-5359

(平日9:30~19:00)

dservice@worldvision.or.jp

ワールド・ビジョン(1950年設立)は、キリスト教精神に基づいて開発援助、緊急人道支援、アドボカシーを行う国際NGOです。

特定非営利活動法人

ワールド・ビジョン・ジャパン

理事長 ● 榎原 寛 発行責任者 ● 片山 信彦

〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー3F

TEL: 03-5334-5350(代) FAX: 03-5334-5359

ホームページ: <http://www.worldvision.jp/>



MC12209

2014年8月発行